

公益社団法人 日本技術士会  
千葉県支部 2019 年度 年次大会  
活 動 報 告 書

**2018 年度活動報告**

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

**2019 年度活動計画**

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

開催日:2019 年 7 月 15 日(月、海の日)

会 場:ホテルプラザ菜の花 3階「菜の花」

千葉市中央区長洲 1-8-1

公益社団法人 日本技術士会 千葉県支部

# 日本技術士会 千葉県支部

## 2019 年度 年次大会

### 活動報告書

#### 目次

I. 支部長挨拶	1
II. 2018 年度活動報告・2019 年度活動計画	2
1. 千葉県支部活動報告・活動方針	
2. 委員会・チーム活動報告・活動計画	
①総務委員会	
②企画委員会	
③広報委員会	
④活動推進委員会	
⑤産学官連携チーム	
⑥企業支援チーム	
⑦技術相談チーム	
⑧防災支援チーム	
⑨科学教育支援チーム	
⑩技術者教育支援チーム	
III. 会計報告・活動組織図	13
1. 2018 年度 収支計算書 (決算)	
2. 2019 年度 予算	
3. 2018 年度 監査報告書	
4. 2019 年度 活動組織図	

## I. 支部長挨拶

本日、2019年度年次大会開催に当たり多くの会員各位に出席いただきお礼申し上げます。  
千葉県支部は、2012(平成24)年に設置されてから8年目を迎えました。会員の皆様、賛助会員の皆様並びに役員・委員各位にご支援を賜り、活動を進めることが出来ましたことを深謝します。本日は、2018年度の活動報告と、2019年度に向けた活動計画についてご説明し、ご意見を賜りたく存じます。なお、千葉県支部では年度は西暦を今後用いることとしました。

昨年、支部長として感じましたことを、三点述べてみたいと思います。

一つ目は、活動の輪がさらに拡大していることです。昨年、千葉市との間で「災害時における応急対策及び災害復興の協力に関する協定書」の件を説明しましたが、さらに千葉県弁護士会から「災害対策士業等連絡協議会」への参加を求められ、他の士業と轡をならべて災害に対応しようとしています。また、理科教育支援において高校生を巻き込んで活動する件を説明しましたが、昨年度から今年度にかけていくつかの高校から、「高校生に対して理科教育を」などの要望が寄せられ対応に追われています。他の分野も含め、我々の活動がこの1年で一回り膨らんでいると感じました。

二つ目は支部から会員への情報提供です。会員の皆様には同報メールを介して千葉県支部のCPD等の案内をしていますが、これに加え千葉県支部が会員になっている千葉産業人クラブ、千葉商工会議所および東葛テクノプラザの講演会、研修会等の案内をいたしました。この案内については特定の分野に偏らず、会員の技術士業務に資するものと考えて案内をいたしましたので、千葉県支部のサービスが少し増えたとお考えになってご利用ください。

三つ目は支部財務状況の改善です。「千葉県支部は赤字です」と申してきましたが、一昨年、昨年と財政健全化策のおかげで黒字決算となりました。皆様のご協力に感謝します。しかし、今年の3月、4月の退会者が合わせて67名を数え、統括本部から配賦される皆様の年会費5%に当たる事業活動費は減額されてしまいました。皆様にも会員拡大と財政健全化策へのご協力を引き続きお願いします。

2019年度は、さらに多くの会員の皆様に参加いただき活動を進めたいと考えていますので、会員の皆様にはご協力とご支援をいただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日までご出席いただきました皆様の益々のご健勝を祈念しまして、年次大会の挨拶といたします。

支部長 川畑 真一

## II. 平成30年度活動報告・2019年度活動計画

### 1. 千葉県支部 活動報告・活動計画

#### 平成30年度千葉県支部の活動報告 (1/3)

昨年度は平成30年度年次大会の活動計画にのっとり、各委員会並びに支援チームにおいて活動を着実に進めてきた。

平成31年4月末会員数は正会員817名、準会員201名、計1018名で、昨年3月末の正会員830名、準会員228名、計1058名にくらべて40名の大幅減である。

支部会議については、役員会を10回開催し、委員会、支援チーム会議は65回開催した。

##### (1) 地域産業振興への支援

- (a) 地域産業振興への支援として、産・学・官との協働・連携の活動を例年 通り進めた。
- (b) 技術士による企業向け技術相談を継続して3か所で実施した。
- (c) 外房地域の茂原で見学会を実施し県下への展開に努めた。
- (c) 千葉県産業人クラブ、千葉商工会議所、東葛テクノクラブとの協働展開は、技術士の知名度を向上の段階。一部成果あり。

#### 平成30年度千葉県支部の活動報告 (3/3)

##### (6) 収入増・支出削減による、支部財政の黒字化

- (a) 県支部会員の拡大:40名減で会費滞納による退会と推定。
- (b) 役員会の交通費不支給などにより一昨年度に引き続き見かけ上黒字決算を確保。

##### (7) 地方自治体との連携

- (a) 他の土業と連携して県内の自治体と防災で提携をすすめる。
- (b) 自治体が催す市民活動フェア等に参加し、技術士が行う活動を科学技術フェアでのモノづくり体験や防災・減災に関する活動で、幟を立てPRしてきた。
- (8) 「きぼーる」の中央区役所化に伴う活動拠点の探索。  
いくつかの拠点を開拓するも、交通の便、会場の広さ、料金、予約のしやすさ等で「きぼーる」を凌駕する会場は見つけていない。適材適所で開拓した拠点を利用する。

#### 2019年度千葉県支部の活動計画 (2/3)

##### (3) 県下の技術士会との交流

- (a) 千葉県庁技術士会、船橋市役所技術士会、千葉工業大学技術士会等との合同勉強会を開催する。
- (4) CPD(継続的研鑽)
- (a) 技術者倫理の啓発に努め、技術士の資質向上のため講演会や見学会などの研修会を開催し、会員の他、企業関係者及び市民の参加を増やす。
- (5) 会員の活動機会の拡充
- (a) 支援チームや活動グループによる会員の活動参加機会拡充・拡大に努める。
- (b) 企業内技術士の活動の場を拡大する。

#### 平成30年度千葉県支部の活動報告 (2/3)

##### (2) 大学等教育機関との連携

- (a) 大学等研究機関と交流し、講師派遣や大学との連携等の人的交流を進めている。
- (b) 技術者にとっての憧れの資格として技術士の魅力について活動を通して伝えてきたが散発的である。
- (3) 県下の技術士会との交流
- (a) 千葉県庁技術士会、船橋市役所技術士会、千葉工業大学技術士会等との4団体合同勉強会のCPDを1回開催した。
- (4) CPD(継続的研鑽)
- (a) CPDを10回開催し、約440名が参加し、内企業関係者及び市民は約110名(千葉県庁技術士会、船橋市役所技術士会、千葉工業大学技術士会の技術士を含む)の参加を得た。
- (5) 会員の活動機会の拡充
- (a) 支援チームや活動グループに委員会委員として72名の会員の参加を得て活動をすすめた。

#### 2019年度千葉県支部の活動計画 (1/3)

2019年度は昨年度に継続して基本理念の達成に向けた行動指針の具体化活動を展開し、地域社会の発展と、技術士の知名度向上および会員拡大を図る。

##### (1) 地域産業振興への支援

- (a) 地域産業振興支援として、産・学・官との協働・連携を進める。
- (b) 技術士による企業向け技術相談を継続実施する。
- (c) 総武沿線のみならず東葛・外房地域等全県下への展開に努める。
- (d) 支部として会費を払っている千葉産業人クラブ、千葉商工会議所および東葛テクノプラザの活用
- (2) 大学等教育機関との連携
- (a) JABEE関連について学生に向けた技術士の広報活動を進める。
- (b) 大学等研究機関と交流し、講師派遣や大学からの企業連携依頼等の人的交流に努める。
- (c) 技術者にとっての憧れの資格として技術士の魅力の発信。

#### 2019年度千葉県支部の活動計画 (3/3)

##### (6) 収入増および支出削減に配慮し、支部財政の健全化努力

- (a) 県支部会員の拡大をあらゆる場面で図る。  
特に、新入会員が千葉県支部所属を選べるよう働きかける。
- (7) 地方自治体との連携
- (a) 千葉市との「防災支援協定」に基づく体制整備と支援仕組み作りの推進。
- (b) 「災害対策土業等連絡協議会」を通じた活動展開。
- (c) 自治体が催す市民活動フェア等に参加し、技術士が行う活動をPRする。(例えば、科学技術フェアでのモノづくり体験や防災・減災に関する活動等)

## 2. 委員会・チーム 活動報告・活動計画

### 総務委員会(2018年度報告)

委員会を3回開催し、以下の項目につき協議・確認・実施した。

1. 事務所管理は当番制で行っている。当番に協力いただいている幹事並びに会員は21名である。
2. 年次大会は、7月16日(月)「ホテルプラザ菜の花」において支部会員51名の出席を得て開催した。
3. 本部との連携は、報告・連絡・協議などを適切に行っている。
4. 財務・会計は、適切に出納管理を行い、本部へ2ヶ月毎に報告している。本部での集計結果を支部役員会で適時報告し、透明性を確保している。  
なお、会計収支については、2年連続で黒字となった。

### 総務委員会(2019年度計画)

- (1) 事務局整備
  - ・事務所は、会員による当番制によって維持・管理する。
  - ・年次大会及びCPD等委員会活動の支援を行う。
  - ・本部との報告・連絡・協議を行う。
- (2) 財務・会計
  - ・収入の確保を確実にする。
  - ・予算の管理と適切な出納を行う。
- (3) 会員、協賛団体
  - ・会員及び協賛団体の拡大に努める。
- (4) 会規、会議、名簿整備
  - ・規則類の整備を進める。
  - ・支部役員会等会議の議事録を整備する。

### 協賛団体

株式会社 ちばとち  
有限会社 ケイエムアイエスオー  
一般財団法人 千葉県環境財団  
プラスチック・ジャパン 株式会社  
特定非営利活動法人 建設技術監査センター  
(敬称略)

### 総務委員会(2018年度報告)

1. 規則や細則類の整備に伴う支部規定等について見直し、整備を図った。
  - ①千葉県支部CPD運用規則(改訂)
  - ②千葉県支部事務所当番業務対応要領(見直し)
2. 支部役員会の開催案内通知、役員会審議資料の準備、役員会議事録の整理を行った。
3. CPD等他の委員会並びに活動推進各チームとの連携を図った。
4. 会員数は1018(正会員817、準会員201、2019年4月末)、協賛団体数は5といずれも減少した。

### 総務委員会(2019年度計画)

- (5) 総務委員会の体制の見直し・増強・若返り
- (6) 規則・手引き類の見直し  
事務所利用に関する規則  
その他全般的な見直し
- (7) 協賛団体の特典の見直し  
HP・会報で紹介、講演会・見学会への招待、  
月間「技術士」の送付。
- (8) 財政状況の監視、健全化策の見直し

### 財政健全化策(実施中)

#### (収入増)

- ・IPEJ本部に地域組織活動費の増額の要求継続
- ・CPD参加費の値上げ(1000円→1500円)
- ・地域組織活動補助費の最大限の獲得
- ・協賛金収入の増加(協賛団体の増加)
- ・事務所の有効活用による収入の確保

#### (支出減)

- ・役員会交通費の支給停止
- ・事務所経費の削減案の検討

## 企画委員会(平成30年度報告)

企画委員会は、平成30年度中に委員会を12回開催し、協議を重ねながら以下を推進・実行した。

### 1. CPD研修会、講演会、見学会の実施。

- ① 平成30年度は、別表に示す通り、11回の行事を実施した。
- ② 参加者累計総数は504名(会員390、会員外114名)であった。30年度から講演会の会費を変更したが、28・29年度、30年度とも会員の平均参加者数は35名であり、改定の影響は見られなかった。
- ③ 主なカテゴリーは、科学技術知識向上、合格者祝贺、CPD見学会、年次大会特別講演、防災、新春、合同勉強会、業務能力向上各講演会などであった。

2019年7月年次大会 企画委員会資料

1

- ④ 現場を知る活動として、天然ガスやヨウ素を採取している関東天然瓦斯開発株式会社と双葉電子工業株式会社の井戸及び工場の見学を実施した。
- ⑤ 当委員会だけでなく広く他の活動チームと連携することにより、外部組織との共催の実現と新分野拡大を図った。

### 3. 企画委員会組織強化と活動の効率改善

当委員会メンバー16名が効率よく活動を進める施策として各CPDに担当を割り当て、負荷を分散させながら密度の濃い運営を進めた。

また、会場に「きぼーる」が使えなくなったため、講演会は市の施設を使い乍ら、交流会は近場の居酒屋等を使用した。

2019年7月年次大会 企画委員会資料

3

- ③防災チームと連携した防災講演会の実施
- ④新規テーマによる会員の知見拡大を狙った講演会の実施
- ⑤千葉大学の教授等による講演会の実施
- ⑥士業連絡会との連携強化
- ⑦会員の業務に直結する知識強化に関する講演会の実施
- ⑧現場を知る活動としての見学会など

- 4) 立食で安価な交流会も出来る開催場所として新たに開発した「ハンズカフェ」及び、市の施設の有効活用。

2019年7月年次大会 企画委員会資料

5

## 2. 交流の拡大。

- ① 県支部の活動は、地域に密着した会員相互及び産学官などの交流拡大が望まれる。その観点で、県庁技術士会、船橋市役所技術士会、千葉工大技術士会と合同勉強会を継続、各技術士会との交流を深めた。
- ② 大学との交流では、千葉大学、東京電機大学、茨城大学、東京大学の各教授・名誉教授に専門的なご講演を頂いた。
- ③ 大学や技術士以外にも、うちエコ診断士や公認会計士にも講演を頂き、知識の幅を広げる活動を行った。

2019年7月年次大会 企画委員会資料

2

## 企画委員会(2019年度活動計画)

2019年度は以下を計画し、推進する。

### 1. CPD講演会、見学会の実施。

CPD講演会・工場見学の計画的な実施、内容充実に努め、技術士個々の継続的研鑽を引き続き支援する。

- 1) CPDは講演会及び見学会等を柱とする。
- 2) 会員への同報メール、ホームページを活用し、会員のCPDニーズに対応し、参加者増に繋げ、内容の充実を目指す。
- 3) 重点的なカテゴリーを決め、充実したCPDとする。
  - ① 定例的CPD、年次大会特別講演、新合格者祝贺講演会
  - ② 県庁技術士会、千葉工大技術士会、船橋市役所技術士会との合同勉強会

2019年7月年次大会 企画委員会資料

4

## 2. 交流・連携の拡大と仕組みづくり及び組織強化

外部団体との共催又は協賛の機会を増やすことを検討する。交流の拡大と仕組みづくりを目指し、「交流から連携」へのキーワードのもとに大学・企業・自治体・その他の団体等について、関連委員会、チーム等と協力した仕組みづくりを継続する。

外部のイベントにも積極的に参加し、必要な情報収集及び課題を整理して、関連する委員会及びチームと協力連携して実現に向けての仕組みづくりを計画的に進めていく。

また、CPD開催時に県支部の在り方等、会員相互の意見交換を通じて親交を深めて行きたい。

以上

2019年7月年次大会 企画委員会資料

6

## 平成 30 年度 CPD 実績

No.	実施日時	主テーマ 開催場所	研修内容	参加数
第 59 回	18/04/21(土) 14:00-17:30	CPD 科学技術 講演会 (きぼーる多目的室)	「巨大地震発生短期予測の可能性追究 ー地象天気予報を目指してー」 服部 克己 氏 (千葉大学 教授)	46 名
第 60 回	18/05/12(土) 13:30-17:30	合格者祝賀 (きぼーる多目的室)	「千葉県支部の魅力ある活動に向けて」活動チーム紹介 産学官連携チーム、企業支援チーム、技術相談チーム 防災支援チーム、科学技術・理科支援チーム 技術教育支援チーム(倫理チーム)	49 名 新人 13 名
第 61 回	18/6/2(土) 14:00-17:30	講演会 (きぼーる多目的室)	「家庭部門における二酸化炭素削減の現状とうちエコ診断の果たす役割」 佐藤 ミヤ子 氏 (うちエコ診断士)	27 名 内外部 3 名
第 62 回	18/07/16(月) 15:40-16:40	年次大会 記念講演 (ホテル菜の花 3階)	『リスクコミュニケーション』技術士との関わりをめぐって」 寿楽 浩太 氏 (東京電機大学 准教授)	55 名 内外部 7 名
第 63 回	18/08/04(土) 14:00-17:00	科学技術講演 (市民会館 4 階 第 1・2 会議室)	「技術者こそ学ぶべき原価戦略の新知識」 吉川 武文 氏 (公認会計士・生産技術者) 、	48 名 内企業 5 名
第 64 回	18/09/01(土) 14:00-17:00	防災講演会 市文化センター 9 階 3 会議室	「地質学から見た防災・環境問題」 天野 一男 氏 (茨城大学名誉教授 )	43 名 内一般 3 名 非会員 5 名
第 66 回	18/10/17(水)	合同講演会 市文化センター 5 階セミナー室	県内技術士会合同講演会:「ダムの話」 藤澤 侃彦 氏 ((一財)ダム技術センタ 顧問)	13 名 全体 89 名
第 65 回	18/10/25(木)	工場見学	関東天然瓦斯開発(株)、 双葉電子工業(株)長生精機工場	17 名
第 67 回	18/12/22(土)	開業ノウハウ 市生涯学習セン タ大研修室	「PC が乗っ取られ、ホームページも開けない。どうして?」 中野 昇 氏 (中野技術士事務所 所長) 第 67 回以降、会員外参加者の会費: 2500 円	24 名
第 68 回	19/01/12(土)	新年講演会 市民会館 3・4 会議室	「南海トラフ掘削と最新日本列島論」 木村 学 氏 (東京大学名誉教授)	54 名 内非会員 1
第 70 回	19/03/30(土)	業務能力向上 市文化センター 3・4 会議室	「コミュニケーション能力向上」 秋田 義一 氏 ((一社)話力総合研究所 理事長)	49 名 内非会員 1

(注) 第 69 回は欠番、第 65 回と第 66 回は日付が前後している。

## 広報委員会2018-2019

### 広報委員会体制

委員長 秋元英郎(幹事)

委員会委員 徳永雅彦、竹田雅美(幹事)、小林創、竹内利一

新規メンバー: 板津英輔、福崎昌宏、櫛野勝

## 平成30年度の活動と結果

### [活動目標]

- (1) 千葉県支部HPの拡充
- (2) 同報メールの有効活用
- (3) 会員外への情報発信方法の開拓

2019/7/4

## 平成30年度の活動と結果

### [活動計画]

- (1) HP  
委員会・チーム紹介の充実化(総務委員会、企業支援T以外を掲載)
- (2) 同報メール  
発信メールのアーカイブ化(秋元ローカルに保管)、同報メールリンクのクリック数把握(未実施)
- (3) 対外発信  
千葉県支部紹介ポスターの検討、支部HP以外のメディアの探索(facebookページの活用等)(未実施)

2019/7/4

## 2019年度の活動計画

### [活動目標]

- (1) 千葉県支部HPの拡充
- (2) 同報メールの有効活用
- (3) 他チームの活動支援

2019/7/4

## 2019年度の活動計画

### [活動計画]

- (1) HP  
委員会・チーム紹介の充実化
- (2) 同報メール
- (3) 他チームの活動支援  
技術相談チームの相談件数アップへの対策検討

2019/7/4



## 活動推進委員会(2019年度報告)

## 「情報収集」

当委員会は、独自の活動は行っていません。  
当委員会の下には下記の6つのチームがあり各チームは独立して各々の活動を行っています。

- ①産官学連携チーム
- ②企業支援チーム
- ③技術相談チーム
- ④防災支援チーム
- ⑤科学教育支援チーム  
(科学技術・理科支援チームから改称)
- ⑥技術者教育支援チーム

詳細については、それぞれのチームから活動内容を報告します。

産業人クラブ、ちばしんきんコラボ産学官などの会合に活動推進委員会関係チーム、支部長、他委員会と連携し、出席。情報収集に努めています。

### 産学官連携チーム(平成30年度報告)

産学官連携チームの活動強化と技術士の知名度向上および技術士の活動推進のために、「産・学・官との交流・連携を強めて地域社会の発展に貢献する」ように活動を実施した。

- 1 産学官連携チーム会議：  
原則月1回、第三土曜日に年10回開催した。
- 2 産学官連携チーム会員：  
平成30年度は12名で活動実施した。
- 3 産学官連携チームメンバー紹介：小冊子を作成した。

- 4 産業界へのアプローチ：
  - 4.1 コラボ産学官参加：平成30年5月24日
  - 4.2 産業人クラブ総会、講演会参加：平成30年6月27日
  - 4.3 第17回ベンチャーカップ千葉参加：平成30年11月28日
  - 4.4 省エネ関連につき産業界へのアプローチ実施中
- 5 大学との関係：
  - 5.1 千葉工大 工学部機械工学科との連携実施
  - 5.2 千葉工大/技術士会 講演会参加：平成30年7月7日
  - 5.3 千葉大学/産学官訪問：平成30年7月30日
  - 5.4 千葉大学/講演会出席：平成30年11月30日
- 6 官庁との関係：
  - 6.1 千葉県複合材料技術研究会講演会：平成30年7月3日
  - 6.2 千葉市産業振興財団訪問：平成30年7月5日
  - 6.3 ベンチャープラザ船橋訪問：平成30年7月23日
  - 6.4 船橋市賀詞交換会参加：平成31年1月10日

### 7 産学官関連セミナー：

7.1 産学官関連セミナーの案内  
技術士会県支部の同報メールにより「ちば新産業創生ネットワークセミナー」(千葉県産業振興センター)や「新産業創生プロジェクト活動」(千葉大学)を全部で5件案内

7.2 産学官関連セミナーへの出席  
千葉工大技術士会、県庁/船橋市/技術士会千葉県支部4者合同勉強会、千葉大学の講演会を始め、全部で14の産学官関連の講演会に出席した。

### 8. 企業/大学との共同研究

8.1 千葉大学 服部教授とWNI気象文化創造センターとの共同研究に参加。

### 産学官連携チーム(2019(令和元)年度計画)

- 1 産学官連携チーム会議  
・月1回(第3土曜日、午前)の開催を実施する
- 2 会員増強：会員の増加に努める
- 3 産業界との連携  
・種々の機会を捉え、企業のニーズの把握を行う  
・産業人クラブ、ちばしんきんコラボ産学官およびちばしんきん総合研究所との連携の強化  
・産業界への省エネルギーの啓発と実施
- 4 大学産学官組織との連携強化と各大学のオープンフォーラム等への参加。  
・千葉工大 工学部機械工学科との連携継続
- 5 千葉県庁・千葉県産業振興センター・千葉市産業振興財団・ベンチャープラザ船橋との関係強化
- 6 産学官連携プロジェクトの実践：  
・WNIと千葉大学の共同研究の継続  
・企業・大学と新たな共同研究の実践

## 企業支援チーム報告

### 1. 企業支援チームのミッション

培った技術力を活用し中小企業支援活動を通して社会貢献する。

### 2. ミッション達成の方策

活動を活性化するため、中小企業と交流および対応可能な技術士の確保推進。

- (1) CPDイベントを通じた企業との交流強化
- (2) 経済環境の変化確認と外部人脈拡大
- (3) 千葉県支部内人材登録推進による対応技術陣の強化

他委員会・チームとの連携により、上記課題を達成する。

2019年7月年次大会企業支援チーム

## II 2018年度活動結果

### (1) 企業との交流強化

### (2) 外部人脈拡大

- ✓ 技術相談チーム経由より技術支援対応。
- ✓ 金融機関より企業支援の依頼対応。

#### 2018年度特記

千葉信用金庫様からの技術支援依頼: 技術士に適切な支援者いなかったが、技術士以外の方(博士)を紹介。評価され、「ちばしんきんコラボ産学官」年次総会(2019/5/21)で紹介された。

2019年7月年次大会企業支援チーム

## I 2018年度活動計画

### (1) CPDイベントを通じた企業との交流強化

企画委員会との連携により、友好企業\*へ招待の案内発信。

### (2) 経済環境の変化確認と外部人脈拡大

産学官連携チーム、技術相談チームとの連携により産業人クラブ、コラボ産学官等の会合に出席し、人脈拡大。

### (3) 千葉県支部内人材登録推進による対応技術陣の強化

友好企業: 従来から付き合いのあった企業、産業人クラブ等のアンケート回答企業

2019年7月年次大会企業支援チーム

### (3) 人材登録推進による対応技術陣の強化

2018年度は2名の新規登録

登録だけでなく、支部の行事にも参加してください。良く知った方の紹介が、マッチングの確率が高くなります。

企業支援チームの会合は、企画委員会と同じ毎月第一土曜日に支部事務所にて行っています

2019年7月年次大会企業支援チーム

## III 2019年度の取組み

### (1) CPDイベントを通じた企業との交流強化

2018年度の対応を続行すると共に、外部機関を活用したイベント案内の発信を検討(産学官連携チーム等と合同)

### (2) 経済環境の変化確認と外部人脈拡大

2018年度の対応を続行

2019年7月年次大会企業支援チーム

## IV お願い事項

### ○千葉県支部の人材登録をお願いします。

連絡先: 企業支援チーム  
志澤 (t-shizawa@icntv.ne.jp)  
向原 (nozomimilk@eastcom.ne.jp)  
中野 (nobo.Nakano@gmail.com)

- 千葉県産業振興センターの専門家登録、ミラサポの専門家登録
  - 千葉市産業振興財団の専門家登録をして下さい。
- 登録したらすぐ依頼があるとは限りませんが・・・

登録支援は、企業支援チームが行います

2019年7月年次大会企業支援チーム

以上

技術相談の概要

(1)技術相談の経緯

旧千葉県技術士会時代に開始した。

平成12年(2000年)：無料技術相談所開設  
千葉県産業振興センター 東葛テクノプラザ

平成14年(2002年)：無料技術相談コーナー開設  
千葉市産業振興財団

平成24年(2012年) 3月：日本技術士会千葉県支部 設立  
新事務所へ移転

技術相談の概要

(3)技術相談現場

東葛テクノプラザ



千葉市産業振興財団



技術相談チーム(2018年度報告)

2. 技術相談の認知度向上

- (1)各企業へメールによる技術相談予定など情報発信について、  
発信先企業の見直し中。
- (2)対応可能分野の作成  
・どのようなことができるか分かりやすい分類項目(案)を作成。  
継続討議する。
- 3. 技術相談の体制整備  
・チーム連絡会による情報共有化を3回実施した。

技術相談の概要

(2)技術相談の実施場所

- ・外部の相談窓口にはチームの相談員が出向いている。
- ・支部事務所では、事務所当番が必要により対応している。

相談窓口	場 所	実施日	メンバー
千葉県産業振興センター 東葛テクノプラザ	柏市 東葛テクノプラザ	金曜日	12名
千葉市産業振興財団	千葉市中央 ツインビル2号館	木曜日	11名
日本技術士会 千葉県支部	支部事務所	平 日	21名

技術相談チーム(2018年度報告)

1. 技術相談の実績

前年より件数が増加し、合計11件であった。

<相談件数推移>

相談窓口	2016年度	2017年度	2018年度
千葉県産業振興センター 東葛テクノプラザ	5	1	3
千葉市産業振興財団	7	6	3
千葉県支部事務所	2	2	5
合 計	14	9	11

技術相談チーム(2019年度計画)

1. 技術相談の継続

- ・千葉市産業振興財団、東葛テクノプラザ、支部事務所。
- ・協力者を確保しながら世代交代を進める。

2. 技術相談の認知度向上

今後取り組む具体的方策について協議していく。

- (1)各企業への情報発信先の更新  
・発信先企業は、企業支援チームの接触企業中心にする。
- (2)技術相談の活発化に向けた具体策  
・対応可能分野一覧表、相談実績リストの作成など。

3. 技術相談の体制整備

- ・チーム連絡会などによる情報共有化。

以上

## 防災支援チーム

### 1. 平成30年度活動報告

平成年度（年初計画）

- (1) 基本方針
  - (2) 実施活動報告
    - 1) 防災の日協賛「防災講演会」の実施
    - 2) 防災に関する市民活動
      - ①「ふなばし市民活動フェア2019」に参加
      - ②団地自治会、防災活動組織への協力
    - 3) 防災に関する勉強会(千葉市との防災協定対応)
    - 4) (仮称)災害対策土業連絡会参加
- ※以下この計画に対する結果を報告する

## (2) 実施活動報告① 防災支援チーム

### 1) 防災の日協賛「防災講演会」(第4回)

・9月1日は関東大地震発生の日。これにちなんで9月1日は防災の日とされている。これに協賛し支部のCPD講演として「防災講演会」を開催している。

開催日：平成30年9月1日(土) 千葉市文化センター

テーマ：「地質学から見た防災・環境問題」

講師：天野 一男氏(茨城大学名誉教授)

参加者：約50名

## (2) 実施活動報告② 防災支援チーム

### 2) 防災に関する市民活動

#### ①ふなばし市民活動フェア参加

- ・開催日：平成31年2月2日(日)
- ・会場：船橋市フェイスビル
- ・内容：パネル展示 (H30年12月-H31年2月末)
- ・ブース開設、活動紹介：H31年2月2日
- ・来場者：700名(野田元首相、松戸市長など来訪)
- ・舞台パフォーマンス：災害時の心得行動等について実演
- ・実行委員参加：開催準備、開催内容の討議等
- ・同ふりかえり会に参加、フェアの在り方等について議論、ワークショップとまとめの発表
- ・参加者：30名

## (2) 実施活動報告③ 防災支援チーム

### 2) 防災に関する市民活動

#### ②団地自治会、防災活動組織への協力「防災講演」3回実施

- ・開催①：平成30年6月16日(日)  
対象：アイシティ鎌ヶ谷(鎌ヶ谷市)
  - ・開催②：平成30年10月14日(日)  
対象：コスモMステーション(鎌ヶ谷市)
  - ・開催③：平成31年3月2日(土)  
対象：コトー柏(柏市)
- ・演題：「防災(災害)情報をいかに生かすか」
  - ・講師：秋田義一氏&江藤(防災支援チームメンバ)
- ※これまで平成28年以来、12か所のマンション等で開催

## (2) 実施活動報告④ 防災支援チーム

### 3) 防災に関する勉強会

- ・千葉市との「防災支援協定」の責任体制として防災に関する勉強会を実施中
- ・教材：千葉市地域防災計画 平成27年3月修正 千葉市防災会議
- ・開催日：毎月1回(防災チーム定例会日)  
平成30年6月まで実施  
(平成29年10月より6回開催)

## (2) 実施活動報告⑤ 防災支援チーム

### 4) 災害対策土業連絡会参加

- ・千葉県弁護士会の呼びかけで(仮称)災害対策土業連絡会合2回開催
- ・第1回：平成30年11月29日(金)  
連絡会の活動イメージ等について討議  
参加者：川畑支部長、秋田幹事、岡部幹事  
17土業団体参加
- ・第2回：平成31年3月15日(金)  
弁護士会館 防災研修会  
講師：李 仁鉄氏(にいがた災害ボランティアネットワーク理事長)  
参加者：秋田幹事、岡部幹事、江藤リーダー

## 2. 2019年度活動計画 防災支援チーム

### (1) 基本方針：社会活動の一環「外部へ向けた活動」

#### (2) 活動計画

- 1) 「千葉市との防災協定」協力
  - ・締結遂行責任態勢の整備(調査)
  - ・防災に関する勉強会
- 2) 防災の日協賛「防災講演会」の実施
  - ・千葉市の後援を得る
  - ・千葉市防災活動とタイアップ+土業
- 3) 防災に関する市民活動
  - ①「ふなばし市民活動フェア2020」
  - ②マンション自治会、組織への協力
- 4) (仮)災害対策土業連絡会参加
  - ・会名、規約、活動方針等具体化
  - ・防災関連講演会開催(防災の日共催)

#### 登録メンバー募集

千葉市との防災協定協力会員  
災害発生時のボランティア  
①災害情報の広報等  
②インフラの被災状況調査  
③災害復旧時の設計照査

## チームメンバー紹介 (五十音順)

- |            |            |
|------------|------------|
| ×秋田 義一(幹事) | ×内山 洋      |
| ×江藤 政継     | ×大柳 規幸(幹事) |
| ×岡部 政美(幹事) | ×小友 行峰     |
| ×神山 淳      | ×北村 昌文     |
| ×多田 聡一     | ×千田 正雄     |
| ×尾頭 誠(幹事)  | ×松井 隆(幹事)  |
| ×向井 啓司     | (合計13名)    |

※常時メンバー募集中(定例会毎月最終土曜午前中)

## 科学教育支援チーム(1/8)

### チームの役割

技術士の社会経験と専門業務の知見をもって、主に青少年向けに科学技術の啓発や理科教育の支援活動を担い、健全で活力と好奇心に溢れる人々の暮らしや社会の発展に寄与する。

### チームの活動目標

平成30年度の目標を順次継承

- (1) 科学理科イベントへの教材出展や学校教育支援の充実
- (2) 高校生と協創する理科教育活動の強化
- (3) 他の公共活動体との連携

## 科学教育支援チーム(2/8) 平成30年度実績

・チームの昨年度活動履歴は次のとおりです。■は、解説後掲

6月3日	チャレンジングSHIRASE2018第2回 気象 出展
6月9日-10日	青少年のための科学の祭典 第24回 2018千葉大会 出展
7月21日	長生高校ライトレースカー夏季特別講習 <span style="float:right">新規</span>
7月29日	第8回千葉サイエンススクールフェスティバル 出展
10月6日-7日	第8回 2018千葉市科学フェスタ メインイベント 出展
11月10日	第6回 Chiba Cross School Science Festival 2017 (指導助言者)
12月15日	第6回 Chiba Cross School Science Forum 2017 (指導助言者)
3月19日	八千代松陰中学校パイプマジック特別講習 <span style="float:right">新規</span>
12月~3月	2019年度新作展示の検討(都市鉾山:小型家電リサイクルほか)

## 科学教育支援チーム(3/8)個別学校向け工作実習のトライアル

◎ チームは、科学教育支援活動をより深く学校教育の現場に密着すべく、これまで展示イベント向けに整備してきた工作・教材を、原理学習も含め時間をかけ行う、個々の学校向け「特別講習」を2018年度から試行し、継続発展をめざす。

### 千葉県立長生高校ライトレースカー夏季特別講習

2018.7.21(土)  
10:30-16:00  
応募生徒  
(高1-2)12名  
・自動運転概説  
・工作・回路説明  
・動作確認



2019.3.19(火)  
14:00-15:30  
科学部生徒  
(中1-2)21名  
・光の原理概説  
・工作  
・偏光板実演



私立八千代松陰中学校パイプマジック特別講習

備考: 学校冊子及びスナップ写真は両校の許可を頂き転載。

## 科学教育支援チーム(4/8) 青少年のための科学の祭典

◎ 本件は、年度1回の各地方大会(2018年度60地区)及び全国大会@科学技術館からなる。  
・直近2019第25回千葉大会(2019.6.8-9)@さぼーる でのチーム出展は以下の7作

No.	展示名称
①	無電源ラジオを作ろう! (コラボ:京葉工業高校)
②	CPU解剖体験&都市鉾山クイズ(コラボ:日東造機株)
③	ライトレースカーで車の自動運転を体験しよう
④	メロディーの小箱を作ろう (コラボ:市立千葉高校)
⑤	アートな野菜を作ろう
⑥	昆虫の親子クイズ
⑦	TVで顔認識~帽子をポン~
⑦	楕円ビリヤード~百発百中~

## 科学教育支援チーム(5/8) 出展風景

◎ 青少年のための科学の祭典、千葉市科学フェスタ、SHIRASEなどでの活動の一コマ



## 科学教育支援チーム(6/8) その他の支援活動

◎ Chiba Cross School Science (市立千葉高校主管)の指導助言者の一翼を担う。

・千葉市内小・中・高校参加の児童生徒による科学研究の発表会。平成30年度は第6回。  
前半Festivalはポスター発表会、後半Forumは前半の部の中・高生の優秀選抜のプレゼン発表会  
<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/documents/1110houkoku.pdf>  
<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/documents/1215houkoku.pdf>

Festival 11月10日		Forum 12月15日	
--------------------	--	-----------------	---

備考: 写真は市立千葉高校HPの2016年CCSS広報資料より同校の許可を頂き転載。

・当チームは、毎年数名が、指導助言者の一翼として出席している。  
2018年度は、Festival及びForum各々7名

## 科学教育支援チーム(7/8) チーム陣容

☆ 以下は、この1年間の活動参加者で、有志の方々を含みます。(順不同)

青字: 平成30年度新規参加者

チームリーダー 西田 宏	シニアリーダー 山下 六男	
飯沼 俊和	泉館 浩次郎	今住 則之 ※1
江藤 政継	太田 望斗	大塚 憲司
川畑 真一	河北 慶介	高野 典子
中島 正明 ※2	春山 周夏	松井 啓一
圓山 裕史	三井 宜夫	山村 央
山室 幸之助 ※2	山本 陽一	吉川 圭子
和田 昌美	(さらに募集中)	

※1: ラジオ製作会主管、全国・ご電波ホットスポット探検隊メンバーでもある。  
※2: 協賛の“サイエンス夢クラブ(日立技術士会)”メンバーとして参加

## 科学教育支援チーム(8/8) 2019年度計画

・チームの本年度活動実推(抄)は次のとおりです。 個別学校向けアシストが急増します。

6月8日-9日	青少年のための科学の祭典(第25回 2019千葉大会) 恒例出展 <span style="float:right">環境チーム初出展</span>
7月22日	八千代松陰中学校 技術士夏期特別講座(メロディの小箱) <span style="float:right">準新規</span>
7月26日	長生高校 技術士講座(無電源ラジオ制作+電波原理)特講(2年目)
7月28日	第9回千葉サイエンススクールフェスティバル 出展(3年目)
7月から1月	長生高校 生物野外実験ラズベリーパイWiFi活用技術アシスト <span style="float:right">新規</span>
9月	千葉大学全国高校研究発表(指導助言者) <span style="float:right">新規</span>
10月12日-13日	千葉市科学フェスタ(第9回2019)メインイベント 恒例出展 <span style="float:right">生物工学チーム初出展</span>
10月	チャレンジングSHIRASE(2019年第4回イベント) 恒例出展
11月2日	京葉工業高校 無電源ラジオ制作+電波原理 特別教室 <span style="float:right">新規</span>
11月	Chiba Cross School Science 2019 第7回前半 Festival (指導助言者)
12月	Chiba Cross School Science 2019 第7回後半 Forum (指導助言者)

## 技術者教育支援チーム 2018活動実績

- 2014年 支部公認の倫理教育研究会Grとして活動を開始
- 2015年度 技術の教育技術を研鑽するチームとして活動  
研究会の名称:「技術者倫理教育研究会」
- 2019年度 研究会の名称:「技術者教育研究会」

### 公益社団法人日本技術士会千葉県支部年次大会

#### 技術者教育支援チーム 活動実績(2/3)

##### (2)チーム外での発表

各メンバーが、各所で発表している。  
(各自の技術発表など)

##### (3)執筆活動

当チームの小倉氏が論文執筆「企業における知的財産教育」  
月刊専門誌「粉体技術」の知財特集で、2017年8月号に掲載  
(特集担当委員小波)

##### (4)疑似科学への対応

疑似(ニセ)科学ビジネスが横行している。知識を獲得し、発信する。  
2018年度年次大会で簡単に発表し、出席者の賛意を得た。  
水素水、EM菌、花粉を水に変えるマスク、酵素パワー、  
NMRパイプテクター(磁気水)、…………。

## 技術者教育支援チーム 2019年度 活動計画

- これまでの活動を継続する
- 大学講師が可能なチーム員などを募集する
- ニセ科学に対抗する行動をとる

### 公益社団法人日本技術士会千葉県支部 年次大会

#### 技術者教育支援チーム 活動計画(2/3)

##### (2)大学講師等の派遣相談

支部長、企業支援チームなどチーム外の応援を得て、大学、高専等への働きかけを行う。

小波の千葉大機械、千葉大共通の技術者倫理は熊田氏引継。

##### (3)技術論文の執筆

技術専門誌などに、機会があれば執筆していく。

##### (4)疑似科学への対応

疑似(ニセ)科学ビジネスが横行している。  
これらに関して知識を獲得し、発信をしていく。  
手始めに、NMRパイプテクター(磁気を用いた錆防止器)について、  
具体的に問題点を指摘し、大会出席者の賛意を得たい。

※ この項は別配付の資料で説明。

#### 技術者教育支援チーム 活動実績(1/3)

##### (1)2018年度の技術者教育研究会活動実績(2018年4月～翌年3月)

4月7日	小波	工学倫理とは(後編)鹿児島大授業分
5月5日	川畑	日大機械工学科での授業 似非科学例(小波)
9月15日	岡部	企業研修で知らなければならぬ技術者倫理
10月6日	志澤	技術士制度(経営工学会講演内容)
11月10日	田中	技術者人材の育成
12月1日	小波	技術発想法セミナーの概要1
2月2日	小波	技術発想法セミナーの概要2
3月2日	小波	技術士第二次受験の変更と受験の意義

※ 毎回5～10名出席して発表と議論。

※「技術者倫理教育研究会」から「技術者教育研究会」に改称。  
各種講師応募の際の研究発表の実績として有効。

#### 技術者教育支援チーム 活動実績(3/3)

##### (5)大学への講師派遣

###### ①千葉大学工学部総合工学科機械工学コース 工学倫理

2018年度まで続けた小波の後任を、2019年度から熊田氏が務めることになった。

千葉大学工学部全体の工学倫理も、同様に引き継ぐことになった。

###### ②日本大学生産工学部機械工学科 工学倫理

松井前支部長の知人である高橋進教授から講師要請があり、継続案件であった。

川畑氏が2018年度から実施することになった。

2019年度からは、さらに志澤氏がこれを引き継ぐことになった。

###### ③日本大学生産工学部機械工学科 経営工学

進藤氏の後任を、2019年度から熊田氏が務めることになった。

※鹿児島大学の工学倫理は、引き続き小波が担当。

#### 技術者教育支援チーム 活動計画(1/3)

- 講師予定者、講師経験者が、講義内容を研究した成果を発表し、  
内容と教育の方法をディスカッションしながらブラッシュアップする。
- 大学等での技術者倫理他の教育の場を求める。執筆や対外講演の機会があれば応じる。

##### (1)教育研究活動

原則月1回の研究活動として技術者倫理教育研究会を継続する。

技術者倫理の他、諸専門、技術者向け講演の内容を含む。

原則として、第一月曜の13:00-15:00。

2019年度の「技術者教育研究会」活動予定

4月6日	川畑	警備会社の倫理
5月18日	岡部	岡部:「合格者歓迎会講演」、小波:「発想法補遺」
7月6日	小波	ニセ科学への対応法検討
8月 日	志澤	品質管理に関する講演内容
9月 日	熊田	千葉大における技術者倫理講義等

#### 技術者教育支援チーム 活動計画(3/3)

##### (5)メンバー募集

- ・若干名の増加は可能で、参加募集中
- ・参加資格: 日本技術士会会員
- ・大学及び技術者向けセミナー等の講師希望者、講師経験者
- ・余裕があるときは客員参加も可
- ・原則、第一月曜の13:00-15:00、於 県支部事務所
- ・講演資料データは、開催後しばらくDropboxに保存  
チーム所属メンバーが閲覧可能
- ・会費 無料

##### (6)チームのメンバー

◎小波盛佳(長) ○進藤秀明(副)、志澤達司、河北慶介、熊田成人、  
山本陽一、川畑真一、和田保久、尾頭 誠、小倉秀文、浜崎 豊、  
佐藤泰秀、田中和明、岡部政美、和田昌美

### Ⅲ. 会計報告・活動組織図

1. 2018 年度 収支計算書（決算）

2. 2019 年度 予算

3. 2018 年度 監査報告書

4. 2019 年度 活動組織図

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	補足説明
	A	B	A-B	
1 I 事業活動収支の部				
2 1 事業活動収入の部				
3 (3) 事業収入				
4 ① 広告料収入	0			
5 ② 参加費収入	675,000	620,500	54,500	CPD参加費
6 ③ 各種資料等頒布収入	0			
7 ④ 外部委託管理収入	0	31,840	△ 31,840	業務管理費
8 (4) 雑収入				
9 ① 受取利息	0	2	△ 2	受取利息
10 ③ 雑収入	60,000	44,260	15,740	事務所分担金(1団体)、交流会残金
11 ④ 協賛金収入	140,000	120,000	20,000	協賛金(7団体、1団体未納)
12 ⑤ 寄付金収入	0	0	0	
13 (5) 地域組織活動費収入	921,000	937,600	△ 16,600	本部より、会費の5%相当分
14 (6) 地域組織活動補助費収入				
15 ① 講演会・見学会開催補助費収入	700,000	601,387	98,613	CPD開催費用、企画委員会交通費
16 ⑥ その他補助費収入	405,000	168,762	236,238	科学展示費用、防災支援関係など
17 事業活動収入計 (A)	2,901,000	2,524,351	376,649	
18 2 事業活動支出の部				
19 (1) 事業費				
20 ① 事業促進費				
21 対外活動促進費	520,000	209,266	310,734	科学展示費用など
22 ③ 事業広報費				
23 会誌印刷費	30,000	0	30,000	機関誌発行費
24 会誌郵送費	0		0	
25 インターネット運用費	0		0	
26 その他の広報活動費	30,000	0	30,000	
27 ④ 普及啓発費				
28 関係団体会費	74,000	74,000	0	千葉商工会議所、東葛テクノ会、産業人クラブ
29 ⑥ 研 鑽 費				
30 講演会・見学会開催費	700,000	626,406	73,594	CPD開催費用
31 ⑩ 各種資料等作成費	0		0	
32 ⑩ 業務推進費				
33 法定福利費	0	0	0	
34 賃 金	0	0	0	
35 会 議 費	50,000	25,054	24,946	会議費
36 旅費交通費	450,000	294,798	155,202	交通費
37 通信運搬費	110,000	118,026	△ 8,026	通信費
38 消耗品費	100,000	48,636	51,364	事務用品費
39 印刷製本費	15,000	27,444	△ 12,444	印刷製本費
40 図 書 費	0	0	0	
41 各種会合費	10,000	31,927	△ 21,927	交流会不足分
42 光熱水料費	30,000	30,352	△ 352	電気代、水道代
43 事務所賃借料	720,000	775,380	△ 55,380	契約更新料≒1ヶ月分を含む
44 賃 借 料	0		0	
45 地域委員会活動費	0		0	
46 雑費その他	60,000	29,862	30,138	振込手数料
47 事業活動支出計 (B)	2,899,000	2,291,151	607,849	
48 事業活動収支差額(A)-(B)	2,000	233,200	△ 231,200	
49				
50 前期繰越収支差額	△ 446,000	27,829	△ 473,829	
51 次期繰越収支差額	△ 444,000	261,029	△ 705,029	



(単位:千円)

科 目	2019年度 予算 (A)	2018年度 予算 (B)	差異 A-B	補足説明
1 I 事業活動収支の部				
2 1 事業活動収入の部				
3 (3) 事業収入	[ 730 ]	[ 675 ]	[ 55 ]	
4 ① 広告料収入	0	0	0	
5 ② 参加費収入	720	675	45	CPD参加費 (@1500×480人)
6 ③ 各種資料等頒布収入	0	0	0	
7 ④ 外部依頼管理収入	10	0	10	外部依頼管理手数料
8 (4) 雑収入	[ 120 ]	[ 200 ]	[ △ 80 ]	
9 ① 受取利息収入	0	0	0	受取利息(100円未満)
10 ③ 雑収入	0	60	△ 60	事務所分担金=なくなる。
11 ④ 協賛金収入	120	140	△ 20	協賛金(6団体)
12 ⑤ 寄付金収入	0	0	0	
13 (5) 地域組織活動費収入	[ 939 ]	[ 921 ]	[ 18 ]	会費の5%相当分、本部指定額
14 (6) 地域組織活動補助費収入	[ 1,090 ]	[ 1,105 ]	[ △ 15 ]	
15 ① 講演会・見学会開催補助費収入	690	700	△ 10	CPD開催費補助、本部指定額
16 ⑥ その他補助費収入	400	405	△ 5	対外活動促進費補助
17 事業活動収入計 (A)	[ 2,879 ]	[ 2,901 ]	[ △ 22 ]	
18 2 事業活動支出の部				
19 (1) 事業費	[ 2,909 ]	[ 2,899 ]	[ 10 ]	
20 ① 事業促進費	( 500 )	( 520 )	( △ 20 )	
21 対外活動促進費	500	520	△ 20	科学展示費用、防災支援など
22 ③ 事業広報費	( 60 )	( 60 )	( 0 )	
23 会誌印刷費	30	30	0	機関誌発行費
24 会誌郵送費	0	0	0	
25 インターネット運用費	0	0	0	
26 その他の広報活動費	30	30	0	
27 ④ 普及啓発費	( 74 )	( 74 )	( 0 )	
28 関係団体会費	74	74	0	千葉商工会議所、東葛テクノ会、千葉産業人クラブ
29 ⑥ 研 鑽 費	( 720 )	( 700 )	( 20 )	
30 講演会・見学会開催費	720	700	20	CPD講演会・見学会費
31 ⑫ 各種資料等作成費	0	0	0	
32 ⑰ 業務推進費	( 1,555 )	( 1,545 )	( 10 )	
33 法定福利費	0	0	0	
34 賃 金	0	0	0	
35 会 議 費	50	50	0	きぼーるが使えなくなった
36 旅費交通費	450	450	0	交通費
37 通信運搬費	110	110	0	通信費
38 消 耗 品 費	80	100	△ 20	事務用品費、コピー代
39 印刷製本費	15	15	0	印刷製本費
40 函 書 費	0	0	0	
41 各種会合費	50	10	40	交流会不足分
42 光熱水料費	30	30	0	電気代、水道代
43 事務所賃借料	720	720	0	
44 賃 借 料	0	0	0	
45 地域委員会活動費	0	0	0	
46 雑費その他	50	60	△ 10	振込手数料など
47 事業活動支出計 (B)	[ 2,909 ]	[ 2,899 ]	[ 10 ]	
48 事業活動収支差額 (A) - (B)	[ △ 30 ]	[ 2 ]	[ △ 32 ]	
49				
50 前期繰越収支差額	[ △ 66 ]	[ △ 446 ]	[ 380 ]	
51 次期繰越収支差額	[ △ 96 ]	[ △ 444 ]	[ 348 ]	


## 監査報告書

2019年6月28日

公益社団法人 日本技術士会 千葉県支部

支部長 川畑真一 様

会計幹事

松井 隆 

会計幹事

保坂俊雄 

私たち会計幹事は、2018年4月1日から2019年3月31日までの事業年度執行を監査しました。

監査の方法及び結果について、次の通り報告いたします。

### 1. 監査の方法

会計幹事2名は、役員会に出席して意思疎通を図り、支部長、委員長、チームリーダー及び各幹事による事業実施状況の把握に努めました。

さらに会計帳簿については、2019年6月24日及び28日に、会計関連帳簿等を調査しました。

### 2. 監査結果

- 1) 事業実施（活動の実施）状況は、平成30年度年次大会報告書に示す活動方針に則り、年度計画達成に向けて、着実に実施していると確認しました。
- 2) 会計処理については、貸借対照表、収支計算書、財産目録、現金出納帳、入金伝票及び預金通帳等を確認し、適切に処理していると判断しました。
- 3) 平成29年度に引き続き、平成30年度も黒字計上となりました。  
主にCPD講演会等の着実な実施による参加費収入確保、役員会の交通費支給取り止め等交通費の削減などが黒字計上に寄与していることを評価します。

以上

### 2019年度 活動組織図



委員会・チームの構成員には、委員会委員として会員から広く募り、活動を推進していくことにより、会員各位の奮っての参画をお願いする。

新チームの設置は技術的要請と会員の参画に応じて柔軟に取り組む。

## 基本理念

千葉県支部は、多様な技術士の技術力とチーム力で、産・学・官との交流・連携を強めて、地域社会の発展に貢献する。

## 行動指針

1. 技術士倫理の啓発に努め、継続研鑽(CPD)により技術士の資質向上に努める。
2. 産・学・官との交流を深め、連携を積極的に行い、技術士の活用を促進する。
3. 企業支援、科学技術・理科教育支援、コミュニティとの協働を活発化する。
4. 技術士の知名度向上および会員拡大を図る。

## 委員会・チームの活動予定

千葉県支部の各委員会・チームの活動予定は、下記の千葉県支部の「行事案内」でご覧になれます。

[https://www.engineer.or.jp/c\\_shibu/chiba/topics/005/005135.html](https://www.engineer.or.jp/c_shibu/chiba/topics/005/005135.html)